

令和3年度 第2回 帯広市地域公共交通活性化協議会 議事概要

日 時：令和3年12月23日（木曜日）午後1時30分～午後2時00分
場 所：帯広市役所 議会棟3階 全員協議会室
出席委員：和田会長、長沢委員、小森委員、道見委員（道見代理）、寺山委員、塚本委員、齊藤委員、酒井委員、久保委員、山田委員（片桐代理）、小林委員、桐山委員、西島委員、永田委員（宮腰代理）、内藤委員（高橋代理）、鳥本委員、佐藤委員（以上17名）
事務局：篠原都市建築室長、涌井交通政策係長、屋仲主任、豊田主任
配布資料：会議次第、出席者名簿（資料1）、帯広市地域公共交通網形成計画の期間終了後の方針について（資料2）、地域公共交通計画の策定について（資料3）、（参考）帯広市地域公共交通網形成計画 基本方針（資料4）、（参考）地域公共交通計画及び国庫補助金関連資料（資料5）、モビリティ・マネジメントツール（小冊子）案（資料6）

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 事
 - (1) 協議事項
 - ・議案第1号 帯広市地域公共交通網形成計画の期間終了後の方針について
 - ・議案第2号 地域公共交通計画の策定について
 - (2) その他
 - ・モビリティ・マネジメントツール（小冊子）内容の確認について
- 4 閉 会

【議事概要】

3 議事

- (1) 協議事項
 - ・議案第1号 帯広市地域公共交通網形成計画の期間終了後の方針について
 - ・議案第2号 地域公共交通計画の策定について

《事務局より資料2及び3に基づき一括説明》

(委員)

路線バス利用状況などの調査という話があったが、コロナによる影響が考えられるので、適切な実施時期を判断していただきたい。

(会長)

コロナによる影響で平時の利用状況とは異なることがあるかと思う。適切な調査のタイミング・内容について検討したい。

(委員)

計画策定のスケジュールは、令和4年度に調査をして、令和5年度に計画内容を検討し、令和6年度に策定ということか。

(事務局)

時期については未定だが、できるだけ空白期間を短縮できるように、なるべく早い時期に策定を目指すということで考えている。

(委員)

企業がリモート勤務を実施している状況で、通勤での利用者数がコロナ以前と比べて戻ってきてないという状況があるかと思う。企業の状況のある程度把握することで、通勤の利用状況のデータがとりやすいのではないか。

(会長)

調査方法を検討する際の参考としたい。

(委員)

調査内容や規模は、事業者を選定してから検討していくということか。市内線全路線の輸送人員は調査するものと思うが、それ以上の詳細な調査内容や規模感について、現時点で想定していることはあるか。

(事務局)

現時点で具体的なものはないが、選定された事業者と協議しながら、調査の規模感や項目を検討したい。

(会長)

他に意見、質問等はないか。

《意見等なし》

(会長)

それでは、本件について以上とする。

(2) その他

- ・モビリティ・マネジメントツール（小冊子）内容の確認について

《事務局より資料6について説明》

(委員)

QRコードについて、現在、バス停の情報が簡単に確認できるサイトを発信予定であり、そちらの情報に差し替え願いたい。

(会長)

全体を通して意見等はないか。

(委員)

20年前と比べ、帯広の街がかなり変わってきている印象がある。市街地が大きくなり、中心市街地にあった病院や商業施設、会社が郊外に移転し、中心市街地には夜の街に関連したものが多くなっているような印象を受けているが、昼のバスの系統は全部、夜の街である中心部に向かっている。昼の街に合った系統の再編が必要なのではないか。

(会長)

今の意見について、バス事業者さんとしてはいかがか。

(委員)

イトーヨーカドーが移転したのがバス事業者としては非常に大きい出来事であった。イトーヨーカドーが中心市街地にある時は、今のバスターミナルと同じくらいの利用者がいたが、郊外に移転したことによって、中心部に行く利用客が減ってきている。その

ような流れで、郊外に様々な施設が移転して利用者が減ってきているところもあり、路線の再編は必要と思っている。どのようにするかは非常に難しいが、コロナの影響で大幅な減収となっているので、計画策定の中で全体的な路線の再編検討しながら、新しい形態のものも導入していくとか、そういった研究もこれから先必要になってくると思う。今のままでは、いずれにしても維持は難しいと感じる。

(委員)

昔は中心部に行って帰ってくる利用客が大半であったが、今は途中から途中の停留所でスーパーや病院に行くというニーズも出てきている。路線上だけの施設しか移動できない高齢者や足の不自由な方にとって、バス路線の都合で本来行きたい施設に行くことができない、ということもあるかと思う。ニーズに合った動きができるような路線再編が必要と思う。

(委員)

恐らく、中心街でタクシーを利用するお客様は、特定の目的地だけを行き来していて、西2条通り、駅から藤丸までの間を買い物散策する目的の利用客はまずいないと思う。厚生病院が街から移転したので、以前の厚生病院は大体の路線が旧病院の前を通過する使いやすい位置だったが、バスの乗り換えを難儀に考えて、タクシーを利用する旅客は増えたように思う。

(会長)

他に意見等はないか。

(委員)

公共交通について、一時はコロナの対策で利用を控えるようにという国からの指導や情報発信があった。利用状況がコロナ前の水準に戻るためには、「コロナ対策をしていれば安全なので、公共交通を利用しよう」といった情報発信が必要ではないか。この協議会から発信できるのかわからないが、発信をできるのであれば積極的に進めてもらいたい。

(会長)

以上をもって、令和3年度第2回協議会を終了する。

《閉 会》